

Ⅰ 第2次かすがい市民文化振興プランの概要

(I) 基本理念と基本目標

I 基本理念

この第2次文化振興プランでは、「文化・スポーツ都市」宣言の趣旨を受け、また文化振興基本条例で定めた基本理念を実現するため、本市が目指すべき10年後の姿として計画に掲げる理念を次のとおりとします。

世代を越えて響き合う 文化創造のまち春日井

II 基本目標

計画に掲げる理念を達成するために、次の3つの基本目標を定めます。

基本目標1 参加と体験による文化が生まれる環境づくり

基本目標2 特色ある「春日井文化」の継承・創造

基本目標3 文化を通じた連携のまちづくり

(2) 施策の体系

理念	基本目標		施策	
世代を越えて響き合う 文化創造のまち春日井	基本目標1	参加と体験による文化が 生まれる環境づくり	施策①	幅広い鑑賞機会・文化活動機会の提供
	基本目標2	特色ある「春日井文化」 の継承・創造	施策⑥	特色ある文化の推進
	基本目標3	文化を通じた連携のまち づくり	施策⑧	分野を超えた連携の推進
	施策②	次世代の文化活動を担う人材の育成	施策③	知りたい人に届く文化情報発信
	施策④	市民による文化活動支援の推進	施策⑤	文化が育つ拠点施設の充実
	施策⑦	文化財・伝統文化の保存・継承・活用	施策⑨	文化による地域の活性化

2 第2次かすがい市民文化振興プラン 令和3年度進捗状況評価票

令和4年7月11日開催の令和4年度第2回春日井市文化振興審議会において
春日井市(文化スポーツ部文化・生涯学習課)より令和3年度の進捗状況を報告し、
文化振興審議会の点検・評価を受けたものです。

< 凡例 >

各事業の達成度(自己評価)については、次の5段階で評価を行った。

- A 実施し、計画以上の成果が得られた。
- B 実施し、計画程度の成果が得られた。
- C 実施したが、計画どおりの成果は得られなかった。
- D 検討したが、実施に至らなかった。
- E 実施・検討に至らなかった。

(1) 施策ごとの評価

基本目標1 参加と体験による文化が生まれる環境づくり

施策① 幅広い鑑賞機会・文化活動機会の提供

施策ごとの事業の成果

(1) 多彩な文化芸術のより身近な鑑賞機会の提供

ア 地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
わ〜く書っぷ(書家派遣事業) 【文化・生涯学習課】	書家を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※令和2年度より、あ〜とふるマイタウンより移行して実施。	実施プログラム3、実施回数9回(前年度比6回増)	実施プログラム3、実施回数3回(書プログラムとしては、前年度比3回減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	市民団体や、児童に普段はできない書を体験できる機会を提供することができた。	B 実施団体の満足度も高く、良い機会を提供できたと考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) <内訳> 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト12組35名、実施回数11回(前年度比4回減) <内訳> 音楽(①三味線1回、②サクソフォン・打楽器1回、③フルート・オーボエ・ピアノ1回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、⑦ギター1回)、日本舞踊1回、落語1回、演劇1回、美術2回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。	B 市内で活動する若手音楽家5組を派遣しており、アーティストの経験値を上げることができた点も成果と考えている。
ふれあいセンター、ハーモニー春日井等でのコンサート 【文化・生涯学習課】	地元で活躍する音楽家を招き、市民が気軽に音楽を楽しむことができるコンサートを開催	・西部ふれあいセンター(クリスマスコンサート)1回(増減なし) ・ハーモニー春日井(ウインターコンサート)1回 前年度比1回増)	・西部ふれあいセンター(クリスマスコンサート)1回(前年度比2回減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、西部ふれあいセンターのコンサート2回とハーモニー春日井でのコンサート1回は中止。	地域住民を中心とした市民に身近で音楽を鑑賞できる機会を提供することができた。	B

イ 近隣美術館等との連携の推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがい熟年大学 【文化・生涯学習課】	高齢者が健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、学習の場を提供	熟年大学5コースのうち、芸術文化コースで県内や東濃地域の美術館の学芸員に講師を依頼 県内美術館の展覧会の内容に合わせた講義を実施 ①名古屋造形大学特任教授(愛知県美術館「コートールド美術館展」)②徳川美術館副館長	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	近隣美術館と連携し、受講者に美術について学ぶ機会を提供することができた。	B

ウ 文化芸術強調月間(仮称)の創設

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
該当なし 【文化・生涯学習課】		文化芸術強調月間の創設を検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、現時点で強調月間の創設は適切ではないと判断した。	文化芸術強調月間の創設を検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止されている状況から、強調月間の創設は行わなかった。	—	D 文化芸術強調月間創設の意義については、引き続き検討していく。

エ 幅広い分野の文化芸術を鑑賞・体験する機会の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民美術展覧会 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】	市民が制作した美術作品(日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真)の発表と鑑賞の場を提供	第70回記念展8月21日(土)～8月29日(日) 出品数647点(前年度比28点増)、鑑賞者7,224人(前年度比480人増) 会場:変更なし 出品資格:変更なし 申込方法:直接持参、郵送に加え、Webでの受付を開始	第68回展8月15日(土)～8月23日(日) VR展8月21日(金)～9月30日(水) 出品数619点(前年度比84点減)、鑑賞者6,744人(前年度比3,291人減)、VR展2,349アクセス 会場:変更なし 出品資格:変更なし	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、審査員解説は中止としたが、展覧会を行うことで、美術作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。広報物のイメージ刷新により、新たに若い世代の出品者を得ることができた。	B
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>)】	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	2021 春日井市民第九演奏会 12月5日(日) 出演者人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団68人、合唱団86人、合唱指導者2人)(一昨年度比147人減)、入場者278人(一昨年度比561人減)	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、合唱団の練習が一部中止となり、演奏会の出演者数・客席集を制限せざるを得ない状況であったが、音楽の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
短詩型文学祭 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】	短歌、俳句、川柳、狂俳(一般の部のみ)、詩の作品を公募し、入選作品を掲載した作品集を作成。作品展では特別賞受賞作品等を展示	第41回短詩型文学祭作品展 1月22日(土)~2月6日(日) 出品数:一般の部(高校生以上)826点、小・中学生の部25,108点、計25,934点(前年度比2,281点増)、鑑賞者4,920人 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウム 出品資格:変更なし	第40回短詩型文学祭作品展 出品数:一般の部(高校生以上)844点、小・中学生の部22,809点、計23,653点(前年度比1,912点減) VR展 1月30日(土)~3月21日(日) 691アクセス 出品資格:変更なし ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、作品展と表彰式は中止。	一般の部の出品は微減したが、応募作品総数は過去最高となった。また、これまで有料で販売していた作品集の仕様を改め、無料配布に変更したことで、これまでの4倍以上の作品集を市民に届けることができた。多くの市民、幅広い世代に、文芸作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	B 作品集の無料配布やPR方法の工夫などにより、引き続き認知度の向上を図っていく。
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>)】	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	第73回展10月31日(日)~11月7日(日) 出品数:一般部319点、学生部(高校生以下)5,585点、計5,904点(前年度比167点減)、鑑賞者:5,422人(前年度比486人減)、VR展1,183アクセス(前年度比684アクセス減) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	第72回展10月25日(日)~11月3日(火・休) 出品数:一般部336点、学生部(高校生以下)5,735点、計6,071点(前年度比152点増)、鑑賞者:5,908人(前年度比1,713人増)、VR展1,867アクセス(前年度比830アクセス増) 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウムを追加 出品資格・出品料:変更なし	書に力を入れている全国の高校に出品を依頼するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。前年度から実施しているVR展により、外出自粛する鑑賞者に鑑賞機会を提供することができた。JR春日井駅での展示も大変好評であった。	B 出品数が減少傾向にあるため、新規出品者を呼び込む方策を引き続き検討し、実施していく必要と考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:シネマ歌舞伎 143人、朗読劇「この子たちの夏」211人、反田恭平プロデュースジャパン・ナショナル・オーケストラ 715人、“のだめカンタービレ”の音楽会ピアノ版 426人、瀧川鯉八・玉川太福二人会 106人、柳下美恵のピアノdeシネマ85人 美術系:本山ゆかり展 1,060人、やまなみ工房展 2,396人、重田佑介展「しかくいけしき」 2,266人	舞台系:古閑裕而コンサート 385人、ミュージカル「忍たま乱太郎」 1,375人、あいちオーケストラフェスティバル 440人、親子のためのファミリーシアター!「にんぎょひめ」 277人、津軽三味線☆三絃士コンサート 180人、日曜シネマ1,147人 美術系:杉山新一原画展 2,157人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、松竹大歌舞伎、山下洋輔スペシャルビッグバンドコンサートなど5事業を中止。浅田政志写真展、柳下美恵のピアノdeシネマなど5事業を翌年度以降に延期。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が中止又は翌年度以降に延期となったものもあったが、感染症対策を取って客席数を制限するなどしながら、芸術文化事業を展開し、貴重な鑑賞機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度に引き続き厳しい状況であったが、出演者など関係各所と調整を重ね、市民に貴重な鑑賞機会を提供できた点は評価されるべきと考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えるとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	特別展「書の美、書の価値」650人(前年度比147人増) 企画展「書のまち春日井」2,997人(前年度比1,585人増) 企画展「おののとうふう～和様の書のひみつ～」800人(前年度比100人増)、「私の好きな言葉展」3596点 館蔵品展 「書の魅力」172人、「文字の造形」2,230人、「花を愛でる」197人 年間観覧者数7,479人(前年比2,520人増) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	特別展「王朝文学と古筆切」503人(前年度比226人減) 企画展「龍門造像記」1,412人(前年度比245人増) 企画展「おののとうふう～和様の書のうつりかわり～」700人(前年度比345人減) 館蔵品展 「つづけ書きの妙」273人 「書の魅力」2,029人 年間観覧者数4,959人(前年比2,508人減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	書を専門とし、毎回異なったテーマを設け、全ての展示を自主企画し、専門家から高評価を得る質の高い展覧会を開催することができた。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展覧会の会期や会場の変更もあったが、貴重な鑑賞機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時休館することになったため、急きよ作品所蔵者等と調整し、年間計画を一部変更することで、鑑賞機会の提供に努めた。
ニュータウンきずな事業 【東部市民センター】	地域住民の再生と誇りの象徴である「どんぐり」をキーワードとした2つの事業と囲碁大会を開催	どんぐりキッズ公民館 8月7日、参加者924人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、どんぐり東部公民館まつりと囲碁大会は中止。	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、実施可能な事業を選定し開催し、子供に体験機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な体験機会を提供することができた。

オ 舞台公演、展覧会等に関連した体験事業の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラ 吹奏楽クリニック64人、朗読劇「この子たちの夏」共演7人、高橋多佳子 ピアノレッスン10人 美術系:本山ゆかり展「10 秒絵クササイズ」27人、ピクセルアニメーションを作ってみよう45人	美術系:杉山新一原画展関連企画「工作紙飛行機をデザイン!」224名、「親子で挑戦!謎解きワークシート」100名	新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、実施可能な事業を選定し開催し、体験を通して、子ども達の関心をより深める機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な体験機会を提供することができた。
道風記念館講座 【道風記念館】	書の鑑賞の手助けとなり、書に親しみを持ってもらえるような講座を開催	初心者向け講座「書にふれる、はじめての講座」(全4回)16人(前年度比25人減) ※初心者向け講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小。臨書講座は中止。	道風記念館講座「王朝文学と古筆切」(全4回×2)41人 ※初心者向け講座、臨書講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	初心者向けの講座を実施することで、幅広い層を対象に書への関心・理解を深める機会を提供することができた。	B

(2) 子どもたちが文化芸術を体験する機会の提供

ア 子ども向け舞台公演、展覧会等の開催と関連する体験事業の実施

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラ 吹奏楽クリニック64人、朗読劇「この子たちの夏」共演7人、高橋多佳子ピアノレッスン10人 美術系:本山ゆかり展「10秒絵クササイズ」27人、ピクセルアニメーションを作ってみよう45人 ・親子のためのはじめての音楽会(2日×2回) 508人 ・人形劇フェスティバル 157人 パペットカー公演398人	・親子のためのファミリーシアター!「にんぎょひめ」277人 ・親子のためのはじめての音楽会270人	親子向けの公演を実施することで芸術文化に対する関心を高める機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な機会を提供することができた。
道風記念館展示 道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	子どもの書の鑑賞の手助けとなる解説をほどこした展示と、書に親しめるワークショップを開催	企画展「おののとうふう～和様の書のひみつ～」800人(前年度比100人増) 関連ワークショップ 「秘密の特訓」256人、「はじめてのふで」91人、計347人<定員超過> 企画展「私の好きな言葉展」3596点	企画展「おののとうふう～和様の書のうつりかわり～」700人(前年度比345人減) 関連ワークショップ 「秘密の特訓」96人、「はじめてのふで」72人、計168人<定員超過>	毎年切り口を変えて夏休みに開催している企画展にあわせてワークショップを開催。多くの小学生に体験の機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な体験機会を提供することができた。

イ 青少年鑑賞サポートプログラムの充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
学生の特券(青少年鑑賞サポートプログラム) 【かすがい市民文化財団】	高校生以下を対象に舞台系事業を500円又は無料で、美術系事業を無料で鑑賞できるプログラムを提供 ※令和2年度より「学生の特券」と名称を変更。	舞台系:シネマ歌舞伎 4人、朗読劇「この子たちの夏」31人、反田恭平プロデュースジャパン・ナショナル・オーケストラ 31人、“のだめカンタービレ”の音楽会ピアノ版 65人、瀧川鯉八・玉川太福二人会 3人、 美術系:対象事業なし	舞台系:古閑裕而コンサート 6人、親子のためのファミリーシアター! 「にんぎょひめ」42人、津軽三味線☆三絃士コンサート 10人、かすがい日曜シネマ 24人 美術系:対象事業なし	小中高校生が芸術文化に直接触れる機会をサポートすることができた。 様々な分野のメニューを提供することができた。	B 青少年鑑賞サポートプログラム制度の定着により、クラシック音楽、歌舞伎、朗読劇など幅広い分野に学生を誘導することができた点も評価できると考えている。

ウ 小中学校への芸術家等の派遣

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
わ〜く書っぷ(書家派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	書家を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※令和2年度より、あ〜とふるマイタウンより移行して実施。	実施プログラム3、実施回数9回(前年度比6回増)	実施プログラム3、実施回数3回(書プログラムとしては、前年度比3回減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	市民団体や、児童に普段はできない書を体験できる機会を提供することができた。	B 実施団体の満足度も高く、良い機会を提供できたと考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) <内訳> 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト12組35名、実施回数11回(前年度比4回減) <内訳> 音楽(①三味線1回、②サクソフォン・打楽器1回、③フルート・オーボエ・ピアノ1回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、⑦ギター1回)、日本舞踊1回、落語1回、演劇1回、美術2回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を間近で感じられる機会を提供することができた。 また、学校の授業をアーティストが担う新しい取組を試行し、芸術鑑賞会とは異なる教育的効果を得ることができた。	B

(3) 働く世代、若い世代の文化活動の促進

ア 親子と一緒に鑑賞・体験できる事業の充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
伝統文化体験・継承事業 わ〜く書っぽスペシャル DAY 【文化・生涯学習課】	書や日本画、俳句・川柳などの伝統文化を親子で体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月11日(日)、8メニュー×455人 (協力:美術協会)	実績なし (令和3年度新規事業)	書を始めとする伝統的な文化を親子で体験できる、貴重な機会を提供することができた。	B 文化庁の委託事業の枠組みを活用することで、貴重な体験機会を提供することができた。
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	・親子のためのはじめての音楽会(2日×2回) 508人 ・人形劇フェスティバル 157人 ・パペットカー公演398人	・親子のためのファミリーシアター!「にんぎょひめ」 277人 ・親子のためのはじめての音楽会 270人	0歳児からの子どもとその保護者を対象とした音楽会や親子向けの人形劇公演を実施することで、幅広い層に芸術文化に対する関心を広める機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な鑑賞機会を提供することができた。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
学生の特券(青少年鑑賞サポートプログラム) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	高校生以下を対象に舞台系事業を500円又は無料で、美術系事業を無料で鑑賞できるプログラムを提供 ※令和2年度より「学生の特券」と名称を変更。	舞台系:シネマ歌舞伎 4人、朗読劇「この子たちの夏」31人、反田恭平プロデュースジャパン・ナショナル・オーケストラ 31人、“のだめカンタービレ”の音楽会ピアノ版 65人、瀧川鯉八・玉川太福二人会 3人、 美術系:対象事業なし	舞台系:古閑裕而コンサート6人、親子のためのファミリーシアター! 「にんぎょひめ」42人、津軽三味線☆三絃士コンサート 10人、かすがい日曜シネマ 24人 美術系:対象事業なし	小中高校生が芸術文化に直接触れる機会をサポートすることができた。 様々な分野のメニューを提供することができた。	B 青少年鑑賞サポートプログラム制度の定着により、クラシック音楽、歌舞伎、朗読劇など幅広い分野に学生を誘導することができた点も評価できると考えている。
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】	茶華道や和楽器などの伝統文化や工作などを体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月25日(日) オープニングコンサート 86人、11講座×2回172人(協力:文化協会) ・ワークショップ 8月1日(日)~26日(木) 4講座 95人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夕涼みシネマは中止。	・ワークショップ 8月10日(月・祝)・13日(木) 1講座 22組 74人 ・夕涼みシネマ 8月15日(土) 106人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スペシャルデイ及びワークショップ4回中止。	外出機会の少なくなってしまった子ども達に、貴重な機会を提供することができた。 新たに、囲碁や将棋など生活文化を体験できる講座を実施することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	子どもの書の鑑賞の手助けとなる解説をほどこした展示と、書に親しめるワークショップを開催	企画展「おののとうふう～和様の書のひみつ～」800人(前年度比100人増) 関連ワークショップ 「秘密の特訓」256人、「はじめてのふで」91人、計347人 <定員超過> 企画展「私の好きな言葉展」3596点	企画展「おののとうふう～和様の書のうつりかわり～」700人(前年度比345人減) 関連ワークショップ 「秘密の特訓」96人、「はじめてのふで」72人、計168人 <定員超過>	毎年切り口を変えて夏休みに開催している企画展にあわせてワークショップを開催。多くの小学生に体験の機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な体験機会を提供することができた。

イ 託児付き鑑賞事業等の充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (舞台系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	ファミリー向け公演のうち、対象年齢が設定されている公演などで託児サービス(有料)を実施	実績なし	実績なし	新型コロナウイルス感染症の影響下で、安全安心なサービス提供が可能か、ニーズはあるのか等を検討した結果、実施しなかった。	D 1公演あたり約5万円を文化財団が負担する必要があるため、費用対効果を考慮し、サービスを提供している。

ウ 働いている人も参加しやすい時間での鑑賞事業等の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (昼コン・夜コン) 【かすがい市民文化財団】	おしゃべりを交えた気軽に聴けるコンサートを金曜日の夜と土曜日の昼に開催	昼コン 4・7、10～12月、土曜日14:00～ 5回計996人(前年度比503人増) 夜コン 4・6、9～11月、金曜日19:00～ 5回計604人(前年度比228人減) ※5月の夜コンは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、動画配信に変更した。	昼コン 9～10月、土曜日14:00～ 2回計493人 夜コン 9～11月、金曜日19:00～ 4回計832人 ※4～6月に実施予定であった6回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となってしまったため、後日出演者の動画を配信した。	日程変更を余儀なくされたものの、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、コンサートを実施することができ、気軽に音楽を鑑賞できる貴重な機会を提供することができた。	B

エ 文化活動を行う市民が発表する場の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民美術展覧会 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託) 《再掲》	市民が制作した美術作品(日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真)の発表と鑑賞の場を提供	第70回記念展8月21日(土)～8月29日(日) 出品数647点(前年度比28点増)、鑑賞者7,224人(前年度比480人増) 会場:変更なし 出品資格:変更なし 申込方法:直接持参、郵送に加え、Webでの受付を開始	第68回展8月15日(土)～8月23日(日) VR展8月21日(金)～9月30日(水) 出品数619点(前年度比84点減)、鑑賞者6,744人(前年度比3,291人減)、VR展2,349アクセス 会場:変更なし 出品資格:変更なし	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、審査員解説は中止としたが、展覧会を行うことで、美術作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。広報物のイメージ刷新により、新たに若い世代の出品者を得ることができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>)】 《再掲》	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	2021 春日井市民第九演奏会 12月5日(日) 出演者人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団68人、合唱団86人、合唱指導者2人)(一昨年度比147人減)、入場者278人(一昨年度比561人減)	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、合唱団の練習が一部中止となり、演奏会の出演者数・客席集を制限せざるを得ない状況であったが、音楽の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	B
短詩型文学祭 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】 《再掲》	短歌、俳句、川柳、狂俳(一般の部のみ)、詩の作品を公募し、入選作品を掲載した作品集を作成。作品展では特別賞受賞作品等を展示	第41回短詩型文学祭作品展 1月22日(土)~2月6日(日) 出品数:一般の部(高校生以上)826点、小・中学生の部25,108点、計25,934点(前年度比2,281点増)、鑑賞者4,920人 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウム 出品資格:変更なし	第40回短詩型文学祭作品展 出品数:一般の部(高校生以上)844点、小・中学生の部22,809点、計23,653点(前年度比1,912点減) VR展 1月30日(土)~3月21日(日) 691アクセス 出品資格:変更なし ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、作品展と表彰式は中止。	一般の部の出品は微減したが、応募作品総数は過去最高となった。また、これまで有料で販売していた作品集の仕様を改め、無料配布に変更したことで、これまでの4倍以上の作品集を市民に届けることができた。多くの市民、幅広い世代に、文芸作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	B 作品集の無料配布やPR方法の工夫などにより、引き続き認知度の向上を図っていく。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>)] 《再掲》	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	第73回展10月31日(日)～11月7日(日) 出品数:一般部319点、学生部(高校生以下)5,585点、計5,904点(前年度比167点減)、鑑賞者:5,422人(前年度比486人減)、VR展1,183アクセス(前年度比684アクセス減) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	第72回展10月25日(日)～11月3日(火・休) 出品数:一般部336点、学生部(高校生以下)5,735点、計6,071点(前年度比152点増)、鑑賞者:5,908人(前年度比1,713人増)、VR展1,867アクセス(前年度比830アクセス増) 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウムを追加、春日井駅(学生半紙の部特別賞受賞作品)<継続> 出品資格・出品料:変更なし	書に力を入れている全国の高校に出品を依頼するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。前年度から実施しているVR展により、外出自粛する鑑賞者に鑑賞機会を提供することができた。JR春日井駅での展示も大変好評であった。	B 出品数が減少傾向にあるため、新規出品者を呼び込む方を引き続き検討し、実施していく必要と考えている。
アトリウム音楽祭 【かすがい市民文化財団】	市内外で活動しているアマチュア音楽団体が日頃の成果を発表する音楽発表会	2月26日(土)、3月12日(土)・13日(日)16団体、339人出演(前年度比9人減)、鑑賞者866人(前年度比172人減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月18日(土)・19日(日)は中止。	9月20日(日)・21日(月・祝)・26日(土)・27日(日)13団体、197人出演、鑑賞者598人 3月20日(土・祝)・21日(日)8団体、151人出演、鑑賞者440人 年間計21団体、348人出演(前年度比128人増)、鑑賞者1,038人(前年度比19人増)	新型コロナウイルス感染症対策として、1日の出演団体を減らし、舞台・控室等に密が発生しないよう工夫し、発表の機会を提供することができた。また、客席数を制限し、検温や消毒を徹底するなど、観客にも安心して楽しめる鑑賞機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、発表と鑑賞の機会を提供することができことは成果があったと考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風の書臨書作品展 【道風記念館】	三跡(小野道風、藤原佐理、藤原行成)の書を課題とし、臨書作品を全国から公募 開館以来継続して展覧会を開催	第40回展1月12日(金)~23日(日) 出品数:一般部/玉泉帖237点、本阿弥切243点 高校生の部/智証大師諡号勅書2,441点、秋萩帖154点、合計3,075点(前年比106点減) 鑑賞者386人(前年比202人減) 作品展会場:道風記念館 出品資格・出品料:変更なし 道風の書臨書優秀作品展1月12日(水)~16日(日)作品展会場:文化フォーラム春日井	第39回展1月9日(土)~17日(日) 出品数:一般部/白氏詩巻257点、継色紙294点 高校生の部/玉泉帖2,588点、小島切119点、合計3,258点(前年比290点減) 鑑賞者:588人(前年比240人増) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	小野道風を始めとした三跡の和様の書を学び、鑑賞する機会を提供することで、小野道風の顕彰を行うことができた。 全国各地から応募があり、広く「書のまち春日井」を発信することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
公民館まつり・ふれあいセンター芸能発表会 【各公民館・各ふれあいセンター】	公民館・ふれあいセンターで活動する同好会の成果発表会を開催	中央公民館 公民館クラブ作品展 14団体出展、参加者190人 鷹来公民館 公民館クラブ作品展 13団体出展、参加者243人 公民館クラブ発表会6団体出演 坂下公民館 公民館クラブ作品展 20団体出展、参加者398人、公民館クラブ発表会動画配信 西部ふれあいセンター芸能祭 延べ参加者142人	知多公民館 9団体出展、延べ参加者115人 鷹来公民館 10団体出展、延べ参加者68人 坂下公民館 19団体出展、延べ参加者312人 ※中央公民館、東部公民館、南部・西部ふれあいセンターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	地域で活動する様々な団体に成果発表の機会を提供するとともに、各団体の交流を図ることができた。	B ※開催分についての み評価
ハーモニーフェスティバル 【青年の家】	ハーモニー春日井で活動する同好会の成果発表会を開催	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—
レディヤン祭 【男女共同参画課】	登録団体の交流を図り活動発表を実施することで、活動の周知や男女共同参画社会に向けた意識づくりの機会とする	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 代替企画として、レディヤンかすがいのロビーで認定団体の活動写真や作品等を展示 12月12日(日)～12月25日(土)	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 代替企画として、レディヤンかすがいのロビーで認定団体の活動写真や作品等を展示 12月17日(木)～12月27日(日)	地域で活動する様々な団体に成果発表の機会を提供することができた。	B ※開催分についての み評価

(4) 高齢者、障がい者等の鑑賞機会の充実

ア 高齢者、障がい者等にも配慮した鑑賞機会の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:シネマ歌舞伎 143人、朗読劇「この子たちの夏」 211人、反田恭平プロデュースジャパン・ナショナル・オーケストラ 715人、“のだめカンタービレ”の音楽会ピアノ版 426人、瀧川鯉八・玉川太福二人会 106人、柳下美恵のピアノdeシネマ85人 美術系:本山ゆかり展 1,060人、やまなみ工房展 2,396人、重田佑介展「しかくいけしき」 2,266人 日曜シネマ(全4回)にてボランティア団体の協力を得て聴覚障がい者のためのシーンボイスガイドを実施。	舞台系:古閑裕而コンサート 385人、ミュージカル「忍たま乱太郎」 1,375人、あいちオーケストラフェスティバル 440人、親子のためのファミリーシアター!「にんぎょひめ」 277人、津軽三味線☆三絃士コンサート 180人、日曜シネマ 1,147人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、松竹大歌舞伎、山下洋輔スペシャルビッグバンドコンサートなど5事業を中止。浅田政志写真展、柳下美恵のピアノdeシネマなど5事業を翌年度以降に延期。 日曜シネマ(全4回)にてボランティア団体の協力を得て聴覚障がい者のためのシーンボイスガイドを実施。	各舞台公演で車いす席を設定、映画上映会でシーンボイスガイドを実施するなど高齢者や障がい者等にも配慮した鑑賞機会を提供することができた。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、高齢者や基礎疾患を持った方が安心して鑑賞できるよう、隣の人との間隔を設定し、安心して鑑賞できる機会を提供した。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えるとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	特別展「書之美、書の価値」 650人(前年度比147人増) 企画展「書のまち春日井」 2,997人(前年度比1,585人増) 企画展「おののとうふう～和様の書のひみつ～」800人(前年度比100人増)、「私の好きな言葉展」3596点 館蔵品展 「書の魅力」172人、「文字の造形」2,230人、「花を愛でる」197人 年間観覧者数7,479人(前年比2,520人増) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	特別展「王朝文学と古筆切」 503人(前年度比226人減) 企画展「龍門造像記」 1,412人(前年度比245人増) 館蔵品展 「つづき書きの妙」273人 「書の魅力」2,029人 年間観覧者数4,959人(前年比2,508人減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	書を専門とし、毎回異なったテーマを設け、全ての展示を自主企画し、専門家から高評価を得る質の高い展覧会を開催することができた。	B 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時休館することになったため、急きよ作品所蔵者等と調整し、年間計画を一部変更することで、鑑賞機会の提供に努めた。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
福祉の里レインボープラザでの事業 【社会福祉協議会】	「ハッピーコンサート」等の開催により鑑賞の機会を提供し、「だれでもアーティスト」等の開催により発表と鑑賞の機会を提供	鑑賞事業:ハッピーコンサート<4回> 264人、クリスマスコンサート 43人 参加・鑑賞事業:ビデオでみんなのコンサート 鑑賞者 29人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ハッピーコンサート<1回>、演芸フェスタは中止。	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	地域で活動する様々な団体に成果発表の機会を提供するとともに、各団体の交流を図ることができた。	B ※開催分についての み評価

イ 福祉施設、病院等での文化事業の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) <内訳> 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト12組35名、実施回数11回(前年度比4回減) <内訳> 音楽(①三味線1回、②サクソフォン・打楽器1回、③フルート・オーボエ・ピアノ1回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、⑦ギター1回)、日本舞踊1回、落語1回、演劇1回、美術2回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。 また、学校の授業をアーティストが担う新しい取組を試行し、芸術鑑賞会とは異なる教育的効果を得ることができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値			
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
文化芸術の活動をしている人の割合	14.5%	20.0%	25.0%	2021年度に測定	2021年度に測定	2021年度に測定	12.3%

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた。	<p>令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響下での事業展開となった。一部、延期や中止となった事業はあったが、感染症対策を取った上で、質の高い魅力的な事業が実施され、市民が、拠点となる文化施設又は身近な施設で芸術を鑑賞できる機会が提供されており、評価できる。</p> <p>また、小中高校生など若い世代に対し鑑賞を促すような取り組みや、高齢者に対する鑑賞機会の提供も引き続きなされており、いずれも評価できる。</p> <p>令和元年度同様、文化活動に取り組んでいる市民に対し、様々な発表の場が提供されている点は評価できるが、活動を自粛する市民も少なくなかったと推定されるので、感染症が治まった後そういった対応が可能なのか、どういった対応が市民から求められるのか、対応策の検討が望まれる。</p>
B 概ね計画どおりの成果が得られた	
C 成果が得られた事業が多かった	
D 成果が得られた事業は少なかった	
E 成果は得られなかった	

施策② 次世代の文化活動を担う人材の育成

施策ごとの事業の成果

(1) 若手芸術家等の活動の支援

ア 若手美術家等の作品を取り上げる展覧会の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	本山ゆかり展 1,060人 春日井市出身の若手現代美術作家の地元初となる個展 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期途中で中止。	若手美術家等の作品を取り上げる展覧会の開催なし	春日井市出身の若手現代美術作家の地元初となる個展として、これまで取り組んできた主要な作品を全て展示。広報も多方面に行い多くの鑑賞者を得ることができた。	B 会期中で中止となったが、VR展を開催するなど、若手作家を広くPRすることができた。

イ 若手音楽家等の自主的活動の支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (若手音楽家支援事業) 【かすがい市民文化財団】	若手音楽家を3年間にわたり活動支援するプログラム。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次年度に延期。	ワンコインコンサート(入場料500円のコンサート) ・Trombom Ensemble Gaio 11月1日(日) 104人 ・チョコっと延期「バレンタインコンサート」3月20日(土・祝) 3団体出演、129人	—	—

ウ 幅広い分野での文化活動を行う市民等への支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施2団体 国内での文化事業への参加0団体、個人0人	・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施 なし 国内での文化事業への参加なし	新型コロナウイルス感染症の影響下で各団体の活動は厳しい面もあったが、文化活動団体への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	B

(2) 芸術家等と市民との交流の促進

ア 若手芸術家によるワークショップ等の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	みんなの美術部 (1)美術作家/堀口 葵 25人 (2)陶芸作家/矢島与萌 31人 (3)和菓子職員/山口栄三 19人 (4)日本画家/荒木紀江 14人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1メニュー中止。	みんなの美術部 (1)日本画家/芝康弘 41人 (2)イラストレーター/三輪布巳子 40人 (3)イラストレーター/安藤シオン 61人 (4)美術作家/長瀬崇裕 21人	令和元年度から始まったみんなの美術部は誰でも参加できる部活として、様々なジャンルの講師を迎え講座を開催。作品制作だけでなく鑑賞することや話し合う時間も重視して実施し、作品制作と鑑賞の機会を提供することができた。	B
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	茶華道などの伝統文化や工作などを体験できるワークショップを開催	若手芸術家によるワークショップ ・県立芸術大学金工指導員/小林大地 21人	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しなかった。	様々なジャンルの講師を迎え講座を開催し、子ども達に貴重な体験機会を提供することができた。新たに、囲碁や将棋など生活文化を体験できる講座を実施することができた。	B

イ 小中学校への芸術家等の派遣

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
わ〜く書っぷ(書家派遣事業) 【文化・生涯学習課】	書家を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※令和2年度より、あ〜とふるマイタウンより移行して実施。	実施プログラム3、実施回数9回(前年度比6回増)	実施プログラム3、実施回数3回(書プログラムとしては、前年度比3回減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	市民団体や、児童に普段はできない書を体験できる機会を提供することができた。	B 実施団体の満足度も高く、良い機会を提供できたと考えている。
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) <内訳> 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト12組35名、実施回数11回(前年度比4回減) <内訳> 音楽(①三味線1回、②サクソフォン・打楽器1回、③フルート・オーボエ・ピアノ1回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、⑦ギター1回)、日本舞踊1回、落語1回、演劇1回、美術2回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を間近で感じられる機会を提供することができた。 また、学校の授業をアーティストが担う新しい取組を試行し、芸術鑑賞会とは異なる教育的効果を得ることができた。	B

(3) 文化活動団体等の活動の促進

ア 文化活動団体等の活発な活動の促進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	<ul style="list-style-type: none"> ・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施2団体 国内での文化事業への参加0団体、個人0人 	<ul style="list-style-type: none"> ・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施 なし 国内での文化事業への参加なし 	新型コロナウイルス感染症の影響下で各団体の活動は厳しい面もあったが、文化活動団体への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	B
共催事業 【かすがい市民文化財団】	文化活動団体の活動を支援するため、様々な団体との共催事業を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・かすがい人形劇フェスティバル 主催:愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会 ・第28回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル 主催:春日井市高等学校吹奏楽協議会 ・とっておきのクリスマスコンサート 主催:春日井児童合唱団 	<ul style="list-style-type: none"> ・とっておきのクリスマスコンサート 主催:春日井児童合唱団 ※かすがい人形劇フェスティバル、春日井市高等学校吹奏楽フェスティバルは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 	文化財団の持つ専門技術や経験を活かし、各団体が実施する事業を共催という形で支え、文化活動団体の活動を支援することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
舞台制作セミナー 【かすがい市民文化財団】	文化財団の持つ専門技術や経験を基に、照明・音響・舞台技術の基礎知識を伝えるセミナーを実施	・舞台制作セミナー高校吹奏楽版:会場/市民会館、参加者20人(参加校:春日井西高校、高蔵寺高校) ・舞台制作セミナー高校演劇版:会場/春日井高校、参加者6人(参加校:春日井高校)	・舞台制作セミナー高校吹奏楽版:会場/市民会館、参加者10人(参加校:春日井南高校、高蔵寺高校) ・舞台制作セミナー高校演劇版:会場/市民会館、参加者32人(参加校:春日井高校、春日井市商業高校)	実際の舞台道具を用いて舞台に関する専門技術を高校生に伝えることで、高校生の文化活動を支援することができた。	B

イ 文化活動団体等による体験講座の支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】 《再掲》	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 ・文化協会/入門講座10講座 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民音楽連盟の講座は中止。	春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 ・文化協会/入門講座4講座 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化協会/入門講座6講座と市民音楽連盟/ワークショップ1講座、初心者講習会1講座は中止。	初心者向けの講座を実施する文化活動団体への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値			
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
若手音楽家等の学校派遣による特別授業の受講児童・生徒数	653人	700人	800人	569人	405人	1,126人	2,440人

< 参考 >	基準値	実績値			
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
高校生以下を対象とするアウトリーチ事業の実施回数	23回	18回	13回	9回	30回

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 計画以上の成果が得られた</p> <p>B 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>C 成果が得られた事業が多かった</p> <p>D 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>E 成果は得られなかった</p>	<p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響下で、若手芸術家の活動は令和2年度に引き続き、難しい状況であったと思われるが、事業の実施時期を再調整し、感染症が少なくなっていた時期に事業を実施するなど、支援策が講じられており評価できる。</p> <p>成果指標としている「若手音楽家等の学校派遣による特別授業の受講児童・生徒数」は増加した。また、新たに、学校の授業をアーティストが行う取組が試行されるなど、学校現場とより密接に連携することで、子どもたちにとって、良い体験機会が提供できていると認められ、評価できる。</p> <p>また、文化活動団体等に対する支援について、継続的な支援ができている点は評価できる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響や高齢化によって、文化活動団体の活動がより厳しくなると想定されるので、引き続きその支援策の検討が望まれる。</p>

施策③ 知りたい人に届く文化情報発信

施策ごとの事業の成果

(1) 幅広く効果的な文化情報発信

ア インターネットで地域の文化情報の発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井市ホームページ 【広報広聴課】	市民に必要な情報を迅速に提供するため、市ホームページという媒体を活用して情報を発信	・広報春日井に「まちのイベントニュース」掲載し、広報のデータを春日井市ホームページで公開	・毎月15日号広報春日井に「まちのイベントニュース」掲載し、広報のデータを春日井市ホームページで公開	市民グループの発表会などの情報を幅広く発信することができた。	B
文化財団ホームページ 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施している事業の情報や、管理運営している文化フォーラム春日井及び春日井市民会館の情報を発信	・施設のイベントカレンダーを作成し、市民グループの発表会や作品展などの情報を文化財団ホームページで掲載	・施設のイベントカレンダーを作成し、市民グループの発表会や作品展などの情報を文化財団ホームページで掲載	文化財団の事業だけではなく、市民グループの発表会などの情報を幅広く発信することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
外部団体が運営するインターネットサイトへの情報提供 【道風記念館】	道風記念館の施設情報や展覧会情報等を、外部サイトを通して発信	愛知県生涯学習情報提供システム「学びネットあいち」 日本観光振興協会「観るなび」 Internet Museum DNP Museum information Japan 「art scape」 子供とお出かけ情報サイト「いこーよ」	愛知県生涯学習情報提供システム「学びネットあいち」 日本観光振興協会「観るなび」 Internet Museum DNP Museum information Japan 「art scape」 子供とお出かけ情報サイト「いこーよ」	外部の情報サイトを活用することで、幅広い層に情報発信を行うことができた。	B
生涯学習情報サイト「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	市内で活動する団体や、市内で活躍する講師の情報及び公民館等で開催されるイベントや講座情報を発信	講師登録者298人(前年度比2人増、新規登録者14人、削除者12人) 団体登録数132団体(前年度比8団体減、削除団体8) サイトアクセス数30,104件(前年度比3,897件増)	講師登録者296人(前年度比2人増、新規登録者17人、削除者15人) 団体登録数138団体(前年度比8団体減、新規登録団体3、削除団体11) サイトアクセス数26,207(前年度比11,167件減)	公民館やふれあいセンター等で活動する生涯学習活動団体及び、講師として活動する市民の情報発信を行うことができた。 高齢化等で活動を取りやめる団体もあった。	B

イ 市民の意見や入場者数等の分析に基づく情報発信の改善

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	各事業でアンケートを実施し、そこに記載された興味・関心のあるジャンルを基に公演案内を送付	各事業でアンケートを実施し、そこに記載された興味・関心のあるジャンルを基に公演案内を送付 チケット管理システムに蓄積された過去のチケット購買履歴を基に公演案内を送付	情報を求めている顧客に効率的に情報を届けることができた。	B

ウ 文化財団広報誌「FORUM PRESS」等での文化芸術の魅力の発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団広報誌「FORUM PRESS」 【かすがい市民文化財団】	自主文化事業を中心とした芸術文化情報及び施設に関する情報を掲載した広報誌を発行	B5サイズフルカラー 年4回、各7,000部発行 ・自主文化事業に関する情報 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による「公演レポート」「展覧会レポート」を掲載 ・春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」 ・子どもと楽しむ「KIDS☆PRESS」 ・市民活動紹介「みんなの広場」「わたしのアトリエ」	4回発行 98号はA4サイズ12ページ3,000部、99号は同6000部、100号はA4サイズ24ページ、8,000部、101号よりB5サイズにリニューアルし、20ページ7,000部発行。 ・100号では特集「20の言葉」でこれまで取り上げたアーティスト20人の言葉を紹介。 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による公演感想記「わたしのレポート」や「あの人と、春日井と」など地域にまつわるコンテンツをリニューアル後も継続して掲載。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、施設や催事での紙媒体の配布が難しかったが、これから開催される自主事業に関する情報だけではなく、記事を読んで興味がわくような情報発信を行うことができた。 読者アンケートでも大変好評であり、施設や文化財団の事業についてだけでなく、春日井市の魅力をPRすることができた。	B B5サイズに変更し、内容をリニューアルしたことについて、配布先から好評を得ることができた。
道風記念館情報誌「道風記念館だより」 【道風記念館】	収蔵品の紹介や展示案内、書に関する情報を掲載した便りを発行	B5サイズ8ページモノクロ印刷 年4回3,000部 ・展覧会や講座などの事業に関する情報 ・小野道風を始め、書に関する情報 ・収蔵作品情報	B5サイズ4ページモノクロ印刷 年4回3,000部 年1回の発行だったものを年4回発行に拡大。開催時期に合わせた展覧会情報を掲載。 研究者による書に関する連載記事等、有益な書の情報を掲載。	道風記念館の情報を継続して発信することで、PRにつなげることができた。 発行後1年間HPへの公開により、来館できない人へも情報を届けることができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響で、紙媒体の配付は難しい面もあった。

エ 文化財団友の会会員等への情報発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
友の会事業 【かすがい市民文化財団】	自主事業のチケット先行発売・割引購入が可能な有料会員制度	友の会会員(有料)527人(新規入会53人、更新474人) Web会員(無料) 6,445人(前年度比684人増) 合計6,972人(前年度比663人増) 定期的に文化財団広報誌「FORUM PRESS」や自主文化事業等のチラシ類を送付	友の会会員(有料)548人(新規入会99人、更新449人) Web会員(無料) 5,761人(前年度比297人増) 合計6,309人(前年度比17人増) 文化財団広報誌「FORUM PRESS」や自主文化事業等のチラシ類を送付 メールアドレス登録者にはチケット販売情報をメール配信	文化芸術に関心の高い会員に最新の情報を提供することができた。 友の会会員の減少は、「松竹大歌舞伎」等の中止に起因していると考えている。 Web会員はチケット先行予約や座席を指定しての予約も可能なため、比較的若い世代を中心に増やすことができた。	B 有料会員に対しては、丁寧な情報提供を行っていく必要があると考えている。

オ JR各駅や地元商店街等でのポスター掲示、チラシ配布等

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
JR各駅での広報配布 【広報広聴課】	JRの各駅で広報春日井を配布するとともに、JR高蔵寺駅内市民コーナーでポスター掲示、チラシ配架。	広報春日井各号の配布部数 JR勝川駅 20部 JR春日井駅 40部 JR神領駅 140部 JR高蔵寺駅 100部	広報春日井各号の配布部数 JR勝川駅 20部 JR春日井駅 30部 JR神領駅 130部 JR高蔵寺駅 55部	町内会未加入世帯等で広報春日井の入手が難しい市民に対し、広報を入手する機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
JR春日井駅自由通路 展示コーナー 【かすがい市民文化財 団】	自由通路にある展示 コーナーで、特製の巨 大ポスターを掲示し、 文化財団の自主事業 等をPR	重田佑介展「しかくいけしき」 等をPRする広報物を掲示	文化財団の自主事業以外で も、「短詩型文学祭」の特別賞 受賞作品を巨大ポスターにし て掲示するなどした。	市の玄関口であるJR春 日井駅にて文化情報を発 信することができた。 巨大ポスターは2~3枚を 連結させるデザインのも のを作成し、PR効果の向 上を図った。	B

(2) 新しい情報媒体の開拓・活用

ア インターネットを活用した双方向コミュニケーションの促進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市政情報サービス 【広報広聴課】	市民に必要な情報を 迅速に提供するため、 市ホームページ・モバ イルサイト、SNSを活 用して情報を提供	・市公式LINEお友達登録件数 9,865件(前年度比2,640件 増) ・市公式Twitterフォロワー数 3,944(前年度比982増)	・市公式LINEお友達登録件数 7,225件(前年度比2,048件 増) ・市公式Twitterフォロワー数 2,962(前年度比879増)	インターネットを活用し、 様々な手法で情報発信す ることができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団情報発信事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施事業や、文化フォーラム春日井・市民会館の情報提供	・文化財団公式LINEお友達登録件数 655件(前年度比231件増) ・文化財団公式Twitterフォロワー数1,252(前年度比100件増) ・公演に出演のアーティスト等との相互交流を実施	・文化財団公式LINEを開設し、Twitterとともに、最新の情報を発信 ・文化財団公式LINEお友達登録件数 424件 ・文化財団公式Twitterフォロワー数1,152(前年度比92件増) ・公演に出演のアーティスト等との相互交流を実施	インターネットを活用し、様々な手法で情報発信することができた。	B

イ 民間情報誌等を活用した文化イベント情報の発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団広告宣伝事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の活動に“認知・理解・支援”を得るため、新聞・テレビ等への露出を図り、文化財団のPRを実施	記事掲載:中日新聞20回、朝日新聞1回、毎日新聞1回、ラジオ1回、ケーブルテレビ3回、雑誌タウン誌15回 広告掲載:なし チラシ折込:なし 国道19号沿いの民間広告媒体を活用1件	記事掲載:中日新聞42回、朝日新聞6回、西日本新聞1回、テレビ1回、ラジオ4回、ネットテレビ1回、ケーブルテレビ11回、雑誌タウン誌34回、Webメディア3回 広告掲載:なし チラシ折込:なし	「重田佑介展」では、国道19号沿いの民間広告媒体を活用することで、幅広い層にPRをすることができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	道風記念館の施設及び事業をPRするため、情報を発信	記事掲載：中日新聞8回、朝日新聞10回、読売新聞2回、茶華道新聞6回、テレビ愛知1回、ケーブルテレビ2回、雑誌19回 広告掲載：雑誌3回、読売新聞1回	記事掲載：中日新聞16回、朝日新聞7回、茶華道新聞6回、東海テレビ1回、ケーブルテレビ1回、雑誌15回 広告掲載：雑誌2回、読売新聞1回	道風記念館について、新聞や雑誌等で告知を行い、道風記念館を幅広くPRすることができた。	B

ウ 近隣自治体、民間文化施設等との連携による情報発信の推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団情報発信事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施事業や、文化フォーラム春日井・市民会館の情報を提供	文化財団広報誌「FORUM PRESS」を始めとする広報物を県内331施設、県外50施設に配布 美術系事業の広報物は、公共施設だけでなく民間のギャラリーにも配布(相互に依頼) 名古屋市文化振興事業団と連携し、相互に友の会会員への発送物に、双方の事業のチラシを同封 近隣ホールで開催の類似ジャンルの公演にて、自主文化事業の広報物を折り込み(相互に依頼)	文化財団広報誌「FORUM PRESS」を始めとする広報物を県内331施設、県外50施設に配布 美術系事業の広報物は、公共施設だけでなく民間のギャラリーにも配布(相互に依頼) 名古屋市文化振興事業団と連携し、相互に友の会会員への発送物に、双方の事業のチラシを同封	近隣の文化施設と連携することで、幅広い情報を、来館者・友の会会員・公演の鑑賞者に提供することができた。 緊急事態宣言発令による県内外の施設の休館や、様々な公演の延期・中止などもあって、紙媒体の配布については困難な部分も多かった。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	道風記念館の施設及び事業について、PRを実施	展覧会チラシ・ポスターを始めとする広報物を 県内231施設、県外646施設に配布	展覧会チラシ・ポスターを始めとする広報物を 県内141施設、県外641施設に配布 かすかひ市民文化財団が市民会館等で開催する公演の際に、展示作品を紹介する広報物を折り込み	他の美術館等文化施設と連携することで、幅広い情報を、来館者等に提供することができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値			
	2016年度	2021年度	2018年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
市が情報発信の充実に力を入れていくべきと考える人の割合	43.0%	35.0%	25.0%	2021年度に測定	2021年度に測定	2021年度に測定	66.2%

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 計画以上の成果が得られた</p> <p>B 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>C 成果が得られた事業が多かった</p> <p>D 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>E 成果は得られなかった</p>	<p>文化財団広報誌のFORUM PRESSは、子どもと楽しむ「KIDS☆PRESS」や市民活動紹介「みんなの広場」「わたしのアトリエ」など、事業の宣伝に留まらず、読み手に興味を抱かせるような読み物として楽しめるものとなっており、評価できる。</p> <p>その他、市民アンケート調査では、66.2%が「市が情報発信に力を入れていくべき」と回答しており、世代や文化芸術に関する興味関心があるかなど、受け手に合わせた情報発信が求められている。そのため、インターネットやSNSを活用したPRについては、社会情勢の変化に応じたものとなるよう、また、知りたい人に届けるためにはどのような手法が有効なのか、引き続き検討していく必要がある。</p>

施策④ 市民による文化活動支援の推進

施策ごとの事業の成果

(1) ボランティア活動の活性化

ア 継続的な文化ボランティア活動の推進、支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者:22名 (新規登録者3名、退会者2名、前年比1名増) ボランティアへの活動要請:4回、延べ21人従事 顔合わせ会(総会)実施せず、定例会5回、教養講座・自主企画・文化探訪は実施せず 文化ボランティア新規会員募集をPR、3名が加入	文化ボランティア登録者:21名 (新規登録者3名、退会者3名、増減なし) ボランティアへの活動要請:1回、延べ3人従事 顔合わせ会(総会)実施せず、定例会3回、教養講座・自主企画・文化探訪は実施せず 文化ボランティア新規会員募集をPR、3名が加入	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主的な活動は自粛した。 また、市民の文化活動の中止も相次いだため、ボランティア活動もほとんど実施できなかった。 高齢を理由とした退会者もあったが、PRにより新たな会員を迎えることができた。	B ボランティア会員は高齢化しているが、新規会員を継続的に迎えることができた。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団サポーター 【かすがい市民文化財団】	来場者をもてなすボランティアとして、文化財団自主事業に参加(フロントスタッフ) 公演を鑑賞し、観客目線での公演レポートを執筆し、公開(FORUM PRESSレポーター)	・フロントスタッフ35人 (前年比2名減、新規登録者1名、退会者3名) 活動公演数4回、研修等1回 ・FORUM PRESSレポーター10人 (前年比2名減、新規登録者なし、退会者2名) 活動公演数10回、研修等1回 紙面掲載記事4本、ホームページ掲載記事15本	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ・フロントスタッフ37人 ・FORUM PRESSレポーター12人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主的な活動は自粛した。 また、市民の文化活動の中止も相次いだため、ボランティア活動もほとんど実施できなかった。 高齢を理由とした退会者もあったが、PRにより新たな会員を迎えることができた。	B ボランティア会員は高齢化しているが、新規会員を継続的に迎えることができた。

イ 市民が企画、運営する文化事業の支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者:22名 (新規登録者3名、退会者2名、前年比1名増) ボランティアへの活動要請:4回、延べ21人従事	文化ボランティア登録者:21名 (新規登録者3名、退会者3名、増減なし) ボランティアへの活動要請:1回、延べ3人	実際に活動できたのは4日のみではあったが、市民の文化事業を支援することができた。	B

ウ 文化ボランティアによる自主企画イベントの開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者:22名 (新規登録者3名、退会者2名、前年比1名増) ボランティアへの活動要請:4回、延べ21人従事 顔合わせ会(総会)実施せず、定例会5回、教養講座・自主企画・文化探訪は実施せず	文化ボランティア登録者:21名 (新規登録者3名、退会者3名、増減なし) ボランティアへの活動要請:1回、延べ3人従事 顔合わせ会(総会)実施せず、定例会3回、教養講座・自主企画・文化探訪は実施せず。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主的な活動は自粛した。	— 新型コロナウイルス感染症が沈静化しないため、計画を遂行することができなかった。

(2) 市民メセナ基金の活用

ア 市民メセナ基金を活用する事業を通じた情報発信、認知度向上

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者:22名 (新規登録者3名、退会者2名、前年比1名増) ボランティアへの活動要請:4回、延べ21人従事	文化ボランティア登録者:21名 (新規登録者3名、退会者3名、増減なし) ボランティアへの活動要請:1回、延べ3人従事	ボランティア活動時に、主催者と来場者に市民メセナについてPRし、基金への寄附を募ることで認知度の向上を図ることができた。 4事業で63,940円の寄附があった。	B ボランティアが活動した4事業の出演者・鑑賞者から寄附があったことは、成果と考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト12組35名、実施回数11回(前年度比4回減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。	事業実施時に、参加者に市民メセナについてPRし、基金への寄附を募ることで認知度の向上を図ることができた。 6事業で43,667円の寄附があった。	A 6事業の鑑賞者から寄附があったことは、大きな成果と考えている。

イ 市民メセナ基金の運用方法の検討

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民メセナ基金積立 【文化・生涯学習課】	市民や企業等からの寄附金の受け皿となるとともに、マッチングギフト方式を採り入れ、市が寄附と同額を積み立て	文化ボランティア活動、かすがいどこでもアート・ドアに拠出。 ○寄附80,215円 ○マッチングギフト(市負担)80,215円 ○利子939円 前年度末基金現在高9,050,705円 当年度積立額161,369円 当年度取崩額478,000円	・かすがいどこでもアート・ドアに拠出。 ○寄附50,250円 ○マッチングギフト(市負担)50,250円 ○利子767円 前年度末基金現在高9,399,438円 当年度積立額101,267円 当年度取崩額450,000円	積極的なPRの結果、市民メセナ基金を拠出している2事業への参加者から合計80,215円の寄附があった。	B 積極的なPRの結果、市民から寄附を得ることができたことは、成果と考えている。

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値			
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
文化ボランティアの登録者数	23人	25人	28人	19人	21人	21人	22人

< 参考 >	基準値	実績値			
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
文化財団サポーター（フロントスタッフ及びFORUM PRESSレポーター）の登録者数	53人	57人	50人	49人	37人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 計画以上の成果が得られた</p> <p>B 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>C 成果が得られた事業が多かった</p> <p>D 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>E 成果は得られなかった</p>	<p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響下で、ボランティア活動を継続することは難しい状況であった。そうした中でも、少しずつ文化ボランティアや文化財団サポーターの活動機会が増え、新たな登録者を迎えることができた点は評価できる。</p> <p>高齢化が進むなかで、今後市民の文化活動を支える取り組みをどのように広げていくことが可能なのか、引き続きの検討が求められる。</p> <p>市民メセナ基金活用事業において、令和3年度も寄附を募るためのPRが継続され、事業の参加者から寄附があった点は評価できる。</p> <p>今後も、市民メセナ基金について、永続的な運用ができるよう、理解を広める活動の継続が重要である。</p>

施策⑤ 文化が育つ拠点施設の充実

施策ごとの事業の成果

(1) 文化活動の魅力を引き出す施設運営

ア より幅広い利用形態に対応する文化施設運営

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館貸館 【かすがい市民文化財団】	文化フォーラム春日井 諸室及び市民会館施 設の貸出	・文化フォーラム春日井: 1,215件、71,003人(前年度 比441件増、33,794人増) (内訳:ギャラリー35件 26,321人、視聴覚ホール188 件14,033人、会議室287件 5,360人、文化活動室230件 3,293人、和室40件168人、交 流アトリウム435件16,240人、 その他5,588人) ・市民会館:142件38,634人 (前年度比41件増、17,598 人増)	・文化フォーラム春日井:774 件、37,209人(前年度比780 件減、75,988人減) (内訳:ギャラリー22件 15,207人、視聴覚ホール68件 5,064人、会議室225件3,953 人、文化活動室182件2,533 人、和室14件56人、交流アトリ ウム263件5,992人、その他 4,404人) ・市民会館:101件21,036人 (前年度比80件減、78,633 人減)	両施設とも、利用者アン ケートでの利用満足度は 高く、市民にとって使いや すい施設を提供すること ができた。 ※新型コロナウイルス感 染症拡大防止のため、貸 館を休止した期間があっ た。	B 新型コロナウイルス 感染症について、利 用者の安心・安全を 図るため必要な対 策を取っていく必要 がある。

イ 施設利用者の意見に基づく運営方法の改善

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館貸館 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	文化フォーラム春日井 諸室及び市民会館施 設の貸出	顧客満足度調査(大変満足を +3、大変不満-3と数値化して 平均値を算出) ・文化フォーラム春日井・視聴 覚ホール2.43、ギャラリー 2.21 ・市民会館 2.45 利用者アンケートの裏面に、 施設利用サービスの改善点を 掲載 ①会議室等にフリーWi-Fiサ ービスを開始、②トイレのウォ シュレット化促進、③スカイフ ォーラムリニューアル。クリス マスイルミネーションやプラン ター植替により、利用者に憩 いを提供	顧客満足度調査(大変満足を +3、大変不満-3と数値化して 平均値を算出) ・文化フォーラム春日井・視聴 覚ホール2.50、ギャラリー 2.37 ・市民会館 2.43 利用者アンケートの裏面に、施 設利用サービスの改善点を掲 載 ①視聴覚ホールとギャラリーの リニューアル、②視聴覚ホール とギャラリー利用者向けの LANサービス開始、③市民会 館にプロジェクター導入(有 料)、④デジタルサイネージの 導入ほか	両施設とも、利用者アン ケートでの利用満足度は 高く、市民にとって使いや すい施設を提供すること ができた。 改善点を明示すること で、利用者の理解を深め ることができた。	B

(2) 文化施設の整備

ア 東部市民センター施設の活用

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
東部市民センター貸館 【東部市民センター】	ホールや公民館、集会室施設の貸出	東部市民センター2,946件、56,566人 内訳：集会室1,483件29,743人(前年度比389件増、13,402人増)、公民館1,337件15,279人(前年度比296件増、3,824人増)、ホール126件11,544人(前年度比35件増、2,891人増)	東部市民センター2,226件、36,449人 内訳：集会室1,094件16,341人(前年度比55件減、7,517人減)、公民館1,041件11,455人(前年度比570件減、9,619人減)、ホール91件8,653人(前年度比69件減、19,653人減)	新型コロナウイルス感染症の影響下で、施設の貸館を休止する期間もあったが、地域住民の日常生活に寄り添った、東部地区の拠点の生涯学習施設として、地域住民に活動の場を提供することができた。	B ※開催分についての み評価

イ 安全、快適に利用できる文化施設の整備、管理

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館貸館 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	文化フォーラム春日井 及び市民会館の改 修・修繕等を実施	・文化フォーラム春日井:スカイ フォーラム改修工事、冷温水発 生機更新工事、冷却水ポンプ ほか更新工事ほか ・市民会館:排風機改修工事、 外壁改修工事ほか	・文化フォーラム春日井:視聴 覚ホールのイス改修工事、視 聴覚ホール及び交流アトリウム の舞台機構、舞台照明の改修 工事、館内照明のLED化、排煙 窓開閉装置取替修繕、非常照 明等直流電源装置取替修繕ほ か ・市民会館:受変電装置部品更 新工事、給水管修繕ほか	経年劣化に対応するた め、修繕・改修工事を実 施し、施設利用者の安全 性・快適性を高めること ができた。 公共施設個別施設計画 に基づき、計画的な整備・ 管理を行うための基盤を 整備することができた。	B
道風記念館 【道風記念館】	道風記念館の修繕等 を実施	・消火設備修繕 ・監視カメラ修繕 ・展示室フロアコンセント修繕 ・展示室天井修繕	・外壁改修工事 ・内部壁紙貼替修繕 ・館内照明のLED化 ・消防用設備取替修繕 ・放送設備取替修繕	経年劣化に対応するた め、修繕・改修工事を実 施し、施設利用者の安全 性・快適性を高めること ができた。 公共施設個別施設計画 に基づき、計画的な整備・ 管理を行うための基盤を 整備することができた。	B
東部市民センター貸館 【東部市民センター】	ホール及び集会室の 改修・修繕等を実施	ホールの音響設備取替、音響 反射板改修ほか ホールにスタインウェイピアノ D-274を導入	令和2年度から令和3年度に かけて改修工事を実施 (実績は令和3年度に記載)	経年劣化に対応するた め、改修工事を実施しホ ールの魅力向上を図るこ とができた。	B

ウ 文化財関連施設等の保守、管理

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の保護・調査 【文化財課】	史跡等文化財の地元 保存団体等への清掃 業務委託 指定文化財の修理復 旧・環境整備・防災設 備点検等補助 文化財説明看板の保 守・管理	・二子山古墳始め史跡等清掃 業務委託 9団体 ・密蔵院多宝塔(国重要文化 財)防災施設整備事業補助始 め10件 ・文化財説明看板設置・修繕 4件	・二子山古墳始め史跡等清掃 業務委託 9団体 ・内々神社庭園環境整備事業 補助始め9件 ・文化財説明看板設置・修繕 3 件	地元保存団体や民間業 者に清掃等を委託して史 跡等文化財の適切な管 理・保管状況を維持する ことができた。 有効に補助金が交付さ れ、文化財関連施設等の 保守・管理を適切に実施 することができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値			
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
市の文化施設が充実していると考える人の割合	28.8%	30.0%	35.0%	2021年度 に測定	2021年度に 測定	2021年度 に測定	30.3%

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 計画以上の成果が得られた</p> <p>B 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>C 成果が得られた事業が多かった</p> <p>D 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>E 成果は得られなかった</p>	<p>文化フォーラム春日井、市民会館とも、利用者アンケートからみると利用満足度は高く、評価できる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、安心・安全に施設を利用していただくため、物理的な環境を整え、利用者への啓発を継続していく必要がある。</p> <p>文化財は、概ね適切な管理・保管状況が保たれており、評価できる。引き続き継続的な取り組みが必要である。</p>

基本目標2 特色ある「春日井文化」の継承・創造

施策⑥ 特色ある文化の推進

施策ごとの事業の成果

(1) 「書のまち春日井」の推進

ア 書の魅力を紹介する文化事業の充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>)】 《再掲》	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	第73回展10月31日(日)～11月7日(日) 出品数:一般部319点、学生部(高校生以下)5,585点、計5,904点(前年度比167点減)、鑑賞者:5,422人(前年度比486人減)、VR展1,183アクセス(前年度比684アクセス減) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	第72回展10月25日(日)～11月3日(火・休) 出品数:一般部336点、学生部(高校生以下)5,735点、計6,071点(前年度比152点増)、鑑賞者:5,908人(前年度比1,713人増)、VR展1,867アクセス(前年度比830アクセス増) 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウムを追加、春日井駅(学生半紙の部特別賞受賞作品)<継続> 出品資格・出品料:変更なし	書に力を入れている全国の高校に出品を依頼するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。前年度から実施しているVR展により、外出自粛する鑑賞者に鑑賞機会を提供することができた。JR春日井駅での展示も大変好評であった。	B 出品数が減少傾向にあるため、新規出品者を呼び込む方策を引き続き検討し、実施していく必要と考えている。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
新生児向け書家揮毫命名紙入り写真立てプレゼント 【文化・生涯学習課】	春日井市の新生児全員に、市内で活躍する書家が揮毫した命名紙を入れた写真立てを贈呈	送付実績:1,756人 協力書家:8人 (令和3年度新規事業)	実績なし (令和3年度新規事業)	普段書になじみの少ない世代を対象に、生活の中で「書のまち春日井」を実感してもらえる機会を提供することができた。 アンケートでも好評を得ることができた。	B
伝統文化体験・継承事業 わ〜く書っぷスペシャルDAY 【文化・生涯学習課】	書や日本画、俳句・川柳などの伝統文化を親子で体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月11日(日)、8メニュー×455人 (協力:美術協会)	実績なし (令和3年度新規事業)	書を始めとする伝統的な文化を親子で体験できる、貴重な機会を提供することができた。	B 文化庁の委託事業の枠組みを活用することで、貴重な体験機会を提供することができた。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えるとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	年間観覧者数7,479人(前年比2,520人増) 特別展「書の美、書の価値」650人(前年度比147人増) 企画展「書のまち春日井」2,997人(前年度比1,585人増) 企画展「おののとうふう～和様の書のひみつ～」800人(前年度比100人増)、「私の好きな言葉展」3596点 館蔵品展 「書の魅力」172人、「文字の造形」2,230人、「花を愛でる」197人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	年間観覧者数4,959人(前年比2,508人減) 特別展「王朝文学と古筆切」503人(前年度比226人減) 企画展「龍門造像記」1,412人(前年度比245人増) 企画展「おののとうふう～和様の書のうつりかわり～」700人(前年度比345人減) 館蔵品展 「つづけ書きの妙」273人 「書の魅力」2,029人 年間観覧者数4,959人(前年比2,508人減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	書を専門とし、毎回異なったテーマを設け、全ての展示を自主企画し、専門家から高評価を得る質の高い展覧会を開催することができた。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展覧会の会期や会場の変更もあったが、貴重な鑑賞機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時休館することになったため、急きよ作品所蔵者等と調整し、年間計画を一部変更することで、鑑賞機会の提供に努めた。

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風の書臨書作品展 【道風記念館】 《再掲》	三跡(小野道風、藤原佐理、藤原行成)の書を課題とし、臨書作品を全国から公募 開館以来継続して展覧会を開催	第40回展1月12日(金)~23日(日) 出品数:一般部/玉泉帖237点、本阿弥切243点 高校生の部/智証大師諡号勅書2,441点、秋萩帖154点、合計3,075点(前年比106点減) 鑑賞者386人(前年比202人減) 作品展会場:道風記念館 出品資格・出品料:変更なし 道風の書臨書優秀作品展1月12日(水)~16日(日)作品展会場:文化フォーラム春日井	第39回展1月9日(土)~17日(日) 出品数:一般部/白氏詩巻257点、継色紙294点 高校生の部/玉泉帖2,588点、小島切119点、合計3,258点(前年比290点減) 鑑賞者:588人(前年比240人増) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	小野道風を始めとした三跡の和様の書を学び、鑑賞する機会を提供することで、小野道風の顕彰を行うことができた。 全国各地から応募があり、広く「書のまち春日井」を発信することができた。	B
県下児童生徒席上揮毫大会 【小野道風公遺徳顕彰会(事務局:小野小学校)】	昭和11年(1936)に始まった揮毫大会 用紙が2枚だけ配布され、制限時間25分間で行われる 「用意、ドン」と始まるため「小野の競書会」とも呼ばれている	第86回大会 参加者 794人、88校(前年度比392人増) 参加資格:各校1学年2人まで 全参加作品展示 2月4日(金)13日(日)、道風記念館 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、席上揮毫は取りやめ。表彰式は実施しないこととした。	第85回大会 参加者 402人、88校(前年度比1人減、3校減) 参加資格:各校1学年1人まで 全参加作品展示 12月18日(金)~1月5日(火)、道風記念館 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、席上揮毫は取りやめ。表彰式は実施しないこととした。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郵送で作品受付して実施した。 春日井市内だけではなく、愛知県内の多くの学校から出品があり、小中学生に作品を制作する機会を提供するとともに、小野道風の顕彰を行うことができた。	B

イ 書を通じた自治体間交流の推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えるとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	自治体間交流にあたる展覧会の開催はなかった。	自治体間交流にあたる展覧会の開催はなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響下では、自治体の交流は困難である。	D

ウ 春日井まつり等の市民交流事業での書の魅力の発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】	市庁舎周辺で、小野道風に因んだ書道パフォーマンスなど春日井の特色ある催しを実施	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

エ パンフレット等による「書のまち春日井」の発信

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】	「書のまち春日井」PR パンフレットを作成・配布	「書のまち春日井」PRパンフレット(①一般向け、②小学校中学年向け「書のまち春日井と小野道風」、③小学校高学年向け「調べてみよう!小野道風」)を増刷・配布	「書のまち春日井」PRパンフレット(①一般向け、②小学校中学年向け「書のまち春日井と小野道風」、③小学校高学年向け「調べてみよう!小野道風」)を増刷・配布	「書のまち春日井」や「小野道風」について分かりやすくまとめたパンフレットを作成し、小学校の書道科の授業向けに継続して配布することで、「書のまち春日井」や「小野道風」への理解を広げることができた。	B

オ マスコットキャラクターの活用

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】 《再掲》	商標、着ぐるみの貸し出し、グッズの制作・販売等を実施 「ゆるキャラグランプリ」にエントリーし、市内外にPR	<ul style="list-style-type: none"> ・VR道風展に出演 ・商標の貸出(印刷物等への道風くんイラスト使用許可) 56件 ・着ぐるみ貸出(町内会等や一般企業へ無料貸出) 46件 ・道風くんグッズ販売 道風くんバッジセットを新たに作成し、道風記念館や市役所等公共施設、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lirick)、市内書店、勝川駅前商店街で販売 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春日井まつりや市民納涼まつりなどへの参加は取り止めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・VR道風展に出演 ・商標の貸出(印刷物等への道風くんイラスト使用許可) 50件 ・着ぐるみ貸出(町内会等や一般企業へ無料貸出) 19件 ・道風くんグッズ販売 道風くんエコバッグを新たに作成し、道風記念館や市役所等公共施設、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lirick)、市内書店、勝川駅前商店街内商店等で販売 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春日井まつりや市民納涼まつりなどへの参加は取り止めた。	マスコットキャラクター「道風くん」を活用することで、「書のまち春日井」について分かりやすく幅広い世代にPRすることができた。	B

カ 書を気軽に楽しむ講座、講演会等の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	書の鑑賞の手助けとなり、書への関心と深める講座を開催 特別展等にあわせて講演会やギャラリートークを開催	初心者向け講座「書にふれる、はじめての講座」(全4回)16人(前年度比25人減) 特別展「書之美、書の価値」講演会1回 企画展「書のまち春日井」講演会1回 館蔵品展 「書の魅力」学芸員による展示品解説 2回、「文字の造形」学芸員による展示品解説 4回、「花を愛でる」学芸員による展示品解説 4回 (※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止)	臨書講座「三色紙を書く」(全4回)44人(前年度比13人減) 特別展「王朝文学と古筆切」解説講座(全4回)41人 企画展「龍門造像記」に合わせた講演会に代わり、展示品解説動画を配信。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展覧会に合わせた講演会や学芸員による展示品解説等、及び初心者向けの臨書講座は実施しなかった。	書への関心を深める機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
公民館・ふれあいセンター講座 【各公民館、各ふれあいセンター】	公民館、ふれあいセンターで講座を開催	中央公民館 2講座(全8回)受講者20人、1講座(全7回)受講者16人 鷹来公民館 1講座(全2回)受講者9人 坂下公民館 2講座(全6回)受講者37人、1講座(全4回)受講者13人 東部公民館 1講座(全8回)受講者6人 高蔵寺ふれあいセンター 1講座(全3回)受講者21人 レディヤンかすがい 1講座(全2回)受講者8人 総合福祉センター 1講座(全8回)受講者6人	中央公民館 1講座(全8回)受講者19人、1講座(全4回)受講者13人 鷹来公民館 1講座(全2回)受講者15人 東部公民館 1講座(全8回)受講者9人 味美ふれあいセンター 1講座(全2回)受講者4人 南部ふれあいセンター 1講座(全8回)受講者7人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4講座(全8回、全5回、全4回、全2回)中止。	地域に身近な施設で書への関心を深める機会を提供することができた。	B

(2) 自分史のまちづくりの推進

ア 自分史の魅力を紹介する文化事業の充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財団】	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	・自分史相談 毎週火曜日午後、相談無料 ・自分史講座 エッセイ講座<前期>(全5回)受講者16人、エッセイ講座<後期>(全3回)受講者11人、新聞記事で学ぶ文章講座(全3回)受講者18人	・「演劇×自分史プロジェクト」(平成29年度～令和2年度)第3弾公演を公文協シアターアーカイブス事業を活用し、動画をインターネット公開 ・自分史PRイベント 古関裕而コンサートに合わせ、自分史サークルに協力を依頼し、演奏曲目にまつわる自分史作品集を制作し、来場者に配付 ・自分史相談 毎週火曜日午後、相談無料(一部休止)	2年ぶりに自分史講座を開催することができ、文章を書きたい市民に学ぶ機会を提供することができた。	B

イ 自分史の活動を行う団体等の支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、市民会館管理 【文化・生涯学習課】 《再掲》	定期的に活動している自分史サークルに対し、活動認定を行い、施設使用料を減免	自分史サークル6団体を自分史活動団体として認定(受付期間前の施設予約、施設の減免利用、印刷機等の無償利用を認めている。)	自分史サークル6団体を自分史活動団体として認定(受付期間前の施設予約、施設の減免利用、印刷機等の無償利用を認めている。)	自分史サークルが継続的に活動できるよう、施設利用の面で活動を支援することができた。	B

ウ 全国からの自分史作品の収集、公募

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史センターへの作品寄贈 60タイトル ・蔵書8,358タイトル 書籍の貸出 33冊 ・文化情報プラザの書架を充実を更に進めた。 ・第19回掌編自分史全国公募「かおりのきおく」をテーマとした。応募作品 199作品(前年度比3作品減)、優秀作品35点を掲載したを掲載した作品集を刊行 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史センターへの作品寄贈 107タイトル ・蔵書8,298タイトル 書籍の貸出 49冊 ・蔵書を整理し、文化情報プラザの書架を充実させた。 ・第18回掌編自分史全国公募「おくりもの」では、新型コロナウイルス感染症の影響下、自由に人と会えない中「相手」を想う自分史を公募した。応募作品 202作品(前年度比8作品減)、優秀作品37点を掲載した作品集を刊行 	自治体設置の自分史専門図書館としては、全国唯一の施設として、自分史作品の収集を進めることができた。 また、研究目的での利用も増えており、卒業論文・修士論文のための問い合わせも多く、自分史サークルを紹介するなど、自分史の普及に取り組んだ。 その他、自分史作品を公募し、作品集を刊行。より多くの応募を目指して、テーマを設定。公募に関する雑誌やインターネット上でのPRに努めた結果、前年度に近い応募作品数となった。	A 掌編自分史全国公募は、テーマ設定や規定の工夫により、昨年度と同程度の応募作品数となった。地域的には北海道から沖縄まで、年代的には14歳から93歳までの応募があり、大きな成果があったと考えている。

エ インターネット等を活用した日本自分史センターの事業展開

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史センターへの寄贈された作品リストを文化財団ホームページに掲載 ・第19回掌編自分史全国公募「かおりのきおく」をテーマとした。応募作品 199作品(前年度比3作品減)、優秀作品35点を掲載したを掲載した作品集を刊行。昨年度に引き続き、メール応募を積極的にPRするなど、より多くの方に気軽に応募してもらうよう工夫した結果、若い世代からの応募が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史センターへの寄贈された作品リストを文化財団ホームページに掲載 ・第18回掌編自分史全国公募「おくりもの」応募作品202作品、優秀作品37点を掲載した作品集を刊行。インターネット上でのPRを強化するとともに、前年度に引き続きメール応募を呼びかけるなど、より多くの方に気軽に応募してもらうよう工夫した結果、多くの作品が寄せられた。 	北海道から沖縄まで幅広い地域から応募があり、市民に限らず遠方の居住者にも日本自分史センターの自分史事業の情報を発信し、全国的に認知度の向上を図ることができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値			
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展)への応募作品数	6,458点	6,700点	7,100点	6,321点	5,919点	6,071点	5,904点
自分史講座の受講者数	53人	60人	70人	36人	19人	0人(実施できず)	45人

< 参考 >	基準値	実績値			
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展)の鑑賞者数 (VR展のアクセス数)	5,778人 (未実施)	5,017人 (未実施)	4,195人 (1,037アクセス)	5,908人 (1,867アクセス)	5,422人 (1,183アクセス)
自分史事業(自分史センター利用、公募自分史出品、 自分史講座、演劇×自分史プロジェクト)への参加者数	631人	1,326人	1,258人	430人	404人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 計画以上の成果が得られた</p> <p>B 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>C 成果が得られた事業が多かった</p> <p>D 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>E 成果は得られなかった</p>	<p>書と自分史は春日井市が文化振興施策の柱としている取り組みであり、引き続きその魅力を広く発信していくことが望まれる。</p> <p>書については、新たに新生児向けの事業が開始され、親子を対象とした体験イベントが開催されるなどふだん書になじみが薄い層や、親子を対象とした取り組みが実施されており、評価できる。</p> <p>また、道風記念館は開館40周年を迎え、一般が参加できる取組がなされ、文化フォーラム春日井も展覧会会場に加えるなどの方策の結果、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響もあって大きく落ち込んでいた年間観覧者数も令和元年度の水準に戻すことができた。</p> <p>特別展など観覧者数が伸び悩んでいるものもあるので、新たな来館者を呼び込む方を検討する必要がある。</p> <p>また、「書のまち春日井」を広めていくためには、市内の様々な施設でも書について学び体験する機会を提供し、市外から訪れた人々に「書」や「小野道風」について知ってもらう機会を創出するなど、幅広い展開が引き続きの課題である。</p> <p>自分史事業は、引き続き認知度向上のための取組が望まれる。</p>

施策⑦ 文化財・伝統文化の保存・継承・活用

施策ごとの事業の成果

(1) 文化財の保護・活用

ア 歴史的文化財の調査研究の推進と保護、保存

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の保護・調査 【文化財課】 《再掲》	指定文化財所有者等 に対する各種補助金 の交付、文化財の適 切な管理 遺跡の発掘調査、出 土遺物や民俗資料の 調査・整理	<ul style="list-style-type: none"> ・「密蔵院多宝塔防災施設整備事業」補助など11件 ・文化財防火デーに合わせ実施する防火訓練は密蔵院の防災施設整備工事施工のため中止、防火巡視は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・大留西島遺跡発掘調査 ・西部第一・第二土地区画整理事業地内試掘調査 ・市内遺跡調査概要報告書刊行 ・民俗資料の再整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小木田棒の手（風切り購入）」補助など11件 ・文化財防火デーに合わせ実施する防火訓練及び指定文化財の防火巡視は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・熊野西田面遺跡・勝川遺跡ほか発掘調査 ・西部第一・第二土地区画整理事業地内試掘調査 ・市内遺跡調査概要報告書刊行 ・白山小学校に収蔵している民俗資料の再整理 	指定文化財所有者等と連携し、有効に補助金が交付され、文化財の適切な管理・保管状況を維持することができた。発掘調査や民俗・考古資料の整理を実施し、報告書等を刊行することで文化財の記録・保存を進めることができた。	B

イ 文化財を活用した伝統文化の発信事業の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】	市庁舎周辺で、小野道風に因んだ書道パフォーマンスなど春日井の特色ある催しを実施	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—
文化財の活用 【文化財課】	市民が文化財に親しむ機会として、内津文化財祭やハニワまつりなどの啓発イベントを開催	・内津文化財祭 Web開催 ・「春日井古墳散策マップ」増刷 ・「下原古窯跡群」始め11件の市内遺跡・展示室等のVR公開 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ハニワまつりは中止。	・「下街道ガイドマップ」のデジタルパンフレット作成・インターネット配信 ・収蔵品展「ひなまつり」をVRによりインターネット上に公開 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内津文化財祭とハニワまつりは中止。	内津文化財祭をWeb開催したほか、民俗考古展示室や市内遺跡のVR公開など、デジタル技術を活用し文化財情報の発信をすることができた。	B

ウ 文化財、民俗資料等に関する展示の充実

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の活用 【文化財課】 《再掲》	市民が文化財に親しむ機会として、企画展示等を実施し、展示内容に合わせた講座等を開催	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館内 民俗考古展示室 来場者4,217人(前年度比2,562人増) ・「五月人形～端午の節句～」など企画展示を4回開催 ・古代史講座(全3回)、124人 ・親子体験教室 5回開催 参加者93人(前年度比53人増) ・高蔵寺古墳群出土遺物を再整理し、企画展示・パンフレット作成・特別講座(全3回、142人受講)実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館内 民俗考古展示室 来場者1,655人(前年度比3,888人減) ・「須恵器が、埴輪に、御旅所古墳」「ひなまつり」など企画展示を4回開催 ・古代史講座(全3回)、144人 ・親子体験教室 2回開催 参加者40人(前年度比193人減) ・御旅所古墳出土遺物を再整理し、企画展示・パンフレット作成・特別講座(全3回、152人受講)実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時公開休止し、企画展1回、親子体験教室4回中止。 	企画展示に合わせた親子体験教室や講座を開催することで展示に対する理解を深めることができた。	B

エ 文化財ボランティアの活動の推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財ボランティアの育成 【文化財課】	貴重な文化財や歴史及び伝統文化を次世代に伝え、文化財保護を啓発する文化財ボランティアを育成	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 42人 ・ステップアップ研修 2回開催 受講者37人 ※第3～5回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・養成講座 全1回(4回連続講座)計10人が受講し、10人が文化財ボランティアの会に加入 ・小学3年生の社会科校外学習対応として、民俗展示室等の説明に従事 ・ボランティア協働事業 ワークショップ「勾玉をつくろう」「しめ飾りをつくろう」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 40人 ・ステップアップ研修 1回開催 受講者18人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回中止。 ・小学3年生の社会科校外学習対応として、民俗展示室等の説明、市民向けに内々神社等での文化財ガイドに従事 ・ボランティア協働事業「しめ飾りをつくろう」実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、養成講座、ボランティア自主事業「文化財探訪ウォーキング」は中止。協働事業は1回中止、1回は協働を見合わせ職員のみで対応。 	<p>新型コロナウイルス感染症により多くの活動ができなかった影響などから退会者が多くみられたが、養成講座を実施し、10人の新規加入者があったため会員数が維持できた。</p> <p>協働事業として、「しめ飾りをつくろう」などを実施することができた。</p>	B

(2) 子どもたちが伝統文化に親しむ機会の提供

ア 子どもたちが伝統文化に触れ、関心を高める機会の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
伝統文化体験・継承事業 わ〜く書っぷスペシャル DAY 【文化・生涯学習課】 《再掲》	書や日本画、俳句・川柳などの伝統文化を親子で体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月11日(日)、8メニュー、433人 (協力:美術協会)	実績なし (令和3年度新規事業)	書を始めとする伝統的な文化を親子で体験できる、貴重な機会を提供することができた。	B 文化庁の委託事業の枠組みを活用することで、貴重な体験機会を提供することができた。
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	茶華道や和楽器などの伝統文化や工作、書道などを体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月25日(日) オープニングコンサート 86人、11講座×2回172人 (協力:文化協会) ・ワークショップ 8月1日(日)~26日(木) 4講座 95人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夕涼みシネマは中止。	・ワークショップ 8月10日(月・祝)・13日(木) 1講座 22組 74人 ・夕涼みシネマ 8月15日(土) 106人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スチャルデイ及びワークショップ4回中止。	外出機会の少なくなってしまった子ども達に、貴重な機会を提供することができた。 新たに、囲碁や将棋など生活文化を体験できる講座を実施することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
伝統文化体験・継承事業 わ〜く書っぷスペシャル DAY 【文化・生涯学習課】 《再掲》	書や日本画、俳句・川柳などの伝統文化を親子で体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月11日(日)、8メニュー、433人(協力:美術協会)	実績なし (令和3年度新規事業)	書を始めとする伝統的な文化を親子で体験できる、貴重な機会を提供することができた。	B 文化庁の委託事業の枠組みを活用することで、貴重な体験機会を提供することができた。
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	茶華道や和楽器などの伝統文化や工作、書道などを体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月25日(日) オープニングコンサート 86人、11講座×2回172人(協力:文化協会) ・ワークショップ 8月1日(日)~26日(木) 4講座 95人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夕涼みシネマは中止。	・ワークショップ 8月10日(月・祝)・13日(木) 1講座 22組 74人 ・夕涼みシネマ 8月15日(土) 106人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スシャルデイ及びワークショップ4回中止。	外出機会の少なくなってしまった子ども達に、貴重な機会を提供することができた。 新たに、囲碁や将棋など生活文化を体験できる講座を実施することができた。	B

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
児童館事業 【子育て子育て総合支援館】	自由に来館し親子で楽しく遊ぶ場所を提供するとともに、各種講座や教室を実施	・来館者44,750人(乳幼児21,592人、小中高生3,639人、大人19,519人) ・遊びつなごう伝承遊び(将棋教室)1回、参加者6人(小学生対象)	・来館者26,986人(乳幼児13,178人、小中高生1,440人、大人12,368人) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、遊びつなごう伝承遊び(将棋教室)は中止。	伝統的な文化(将棋)を子どもたちが体験できる機会を提供することができた。	B
子育て支援、子育て支援事業 【交通児童遊園】	子ども同士や親同士の仲間作りのための出会いの場を提供するため、様々な事業を実施	・子育て支援事業 将棋教室4回、小学生0人 キッズ大会・教室 陶芸教室、和太鼓体験教室 ほか14回、小学生延べ129人 ・子育て支援事業 わらべうたベビーマッサージ7回 参加者74人 (乳幼児37人、保護者37人) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、和太鼓体験教室ほか4回は中止または延期。子育て支援事業のうち、わらべうたベビーマッサージ1回中止。	・子育て支援事業 キッズ大会・教室 陶芸教室ほか9回、小学生延べ79人 ・子育て支援事業 子育て広場 作って遊ぼうでんでん太鼓1回 参加者14人(乳幼児8人、保護者6人)ほか ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、将棋教室と和太鼓体験教室ほか9回及び、子育て支援事業のうち、わらべうたベビーマッサージほかは中止。	小学生や乳幼児とその保護者を対象に、和太鼓やわらべうたなど伝統的な遊びに触れる機会を提供することができた。	B
郷土芸能保存 【文化財課】	郷土芸能の保存団体と児童が交流できる環境整備	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郷土芸能出前講座は中止。	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郷土芸能出前講座は中止。	—	—

イ 子どもたちが行う伝統芸能等の発表の場の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】 《再掲》	市庁舎周辺で、小野道風に因んだ書道パフォーマンスなど春日井の特色ある催しを実施	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値			
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
民俗考古展示室の観覧者数	7,130人	7,500人	8,000人	6,157人	5,543人	1,655人	4,013人

< 参考 >	基準値	実績値			
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
講座等(親子体験教室、古代史講座、特別講座)への参加者数	672人	713人	696人	336人	359人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 計画以上の成果が得られた</p> <p>B 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>C 成果が得られた事業が多かった</p> <p>D 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>E 成果は得られなかった</p>	<p>令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、民俗芸能や伝統文化の保存・継承についての活動にも支障があったと思われる。そういったなかで、若い世代を担い手として民俗芸能や伝統芸能を保存・継承していく取り組みがなされている点は、評価できる。</p> <p>文化財を適切に保存・管理し、後世に継承していくため、調査が継続的に行われていることは評価できる。今後も、調査の成果を広く市民に公開し、理解を広めるためにはどういった手法が適切か、検討していく必要がある。</p>

基本目標3 文化を通じた連携のまちづくり

施策⑧ 分野を超えた連携の推進

施策ごとの事業の成果

(1) 文化芸術と他の分野との連携

ア 地元大学と市、文化財団との連携の強化

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>) 《再掲》】	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	2021春日井市民第九演奏会 12月5日(日) 出演者人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団68人、合唱団86人、合唱指導者2人)(一昨年度比147人減)、入場者278人(一昨年度比561人減)	※2020春日井市民第九演奏会 は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	新型コロナウイルス感染症の影響下でどう対応すべきなのか、実行委員会事務局(中部大学)、市及び文化財団、市民(合唱団・交響楽団)の三者で協議・調整し、演奏会を開催することができた。	B

イ 商工会議所、商店街等と市、文化財団との連携の強化

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】 《再掲》	商標、着ぐるみの貸し出し、グッズの制作・販売等を実施 ゆるキャラグランプリにエントリーし、市内外にPR	・商標の貸出(商品への道風くんイラスト無料使用許可):市内企業の名刺等に使用 ・着ぐるみの貸出(福祉施設や一般企業へ無料貸出) ・道風くんグッズ 公共施設のほか、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lyric k)、市内書道用品店等で委託販売	・商標の貸出(商品への道風くんイラスト無料使用許可):市内企業の名刺等に使用 ・着ぐるみの貸出(福祉施設や一般企業へ無料貸出) ・道風くんグッズ 公共施設のほか、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lyric k)、市内書道用品店等で委託販売	商工会議所や民間企業にもマスコットキャラクター「道風くん」を幅広く活用してもらうことができた。	B
友の会事業 【かすがい市民文化財団】	自主事業のチケット先行発売・割引購入が可能な有料会員制度。市内の様々な店舗が提携ショップとなっており、会員サービスを実施	友の会会員(有料)527人 提携ショップ49店舗	友の会会員(有料)548人 提携ショップ38店舗 ミュージカル「忍たま乱太郎」に合わせ、提携ショップや商店街に協力を仰ぎ、遠方から来訪する観客向けにおもてなし企画を実施	市内商店等と提携し、友の会会員に各種サービスを提供することができた。	B

ウ 企業・団体等による子どもの芸術鑑賞支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	年齢や性別、社会的 状況等に関わらず誰 もが芸術を鑑賞でき る機会を提供	東部市民センターで開催した 公演で地元企業の協賛によ り、小学生以上の親子50組 100人を招待	東部市民センターで開催した 公演で地元企業の協賛によ り、小学生以上の親子50組 100人を招待	地元企業の協賛により、 小学生とその保護者に芸 術鑑賞の機会を提供する ことができた。	B

(2) 幅広い分野での芸術文化の活用の促進

ア 福祉施設、病院等での文化事業の開催

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽分野について、令和2年度より市より移管を受けた。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) <内訳> 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト13組28名、実施回数11回(前年度比4回減) <内訳> 音楽(①三味線1回、②サクソフォン・打楽器1回、③フルート・オーボエ・ピアノ1回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、⑦ギター1回)、日本舞踊1回、落語1回、演劇1回、美術2回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。 また、学校の授業をアーティストが担う新しい取組を試行し、芸術鑑賞会とは異なる教育的効果を得ることができた。	B 市内で活動する若手音楽家6組を派遣しており、アーティストの経験値を上げることができた点も成果と考えている。

イ 文化芸術による地域の絆づくりの推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増)	派遣アーティスト12組35名、実施回数11回(前年度比4回減)	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。	B 市内で活動する若手音楽家6組を派遣しており、アーティストの経験値を上げることができた点も成果と考えている。
文化財団広報誌「FORUM PRESS」 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	自主文化事業を中心とした芸術文化情報及び施設に関する情報を掲載した情報誌を発行	B5サイズフルカラー 年4回、各7,000部発行 ・自主文化事業に関する情報 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による「公演レポート」「展覧会レポート」を掲載 ・春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」 ・子どもと楽しむ「KIDS☆PRESS」 ・市民活動紹介「みんなの広場」「わたしのアトリエ」	4回発行 98号はA4サイズ12ページ3,000部、99号は同6000部、100号はA4サイズ24ページ、8,000部、101号よりB5サイズにリニューアルし、20ページ7,000部発行。 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による公演感想記「わたしのレポート」や「あの人と、春日井と」など地域にまつわるコンテンツをリニューアル後も継続して掲載。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、施設や催事での紙媒体の配布が難しかったが、これから開催される自主事業に関する情報だけではなく、記事を読んで興味がわくような情報発信を行うことができた。 読者アンケートでも大変好評であり、施設や文化財団の事業についてだけでなく、春日井市の魅力をPRすることができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響で、紙媒体の配布が難しくなっている。 そういった中で、人々の生活に寄り添うような新たなコーナーを設けることができたと考えている。

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値			
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
大学や企業、各種団体等と市、文化財団との連携による事業の参加者数	1,546人	1,600人	1,700人	2420人	2,588人	277人	1,600人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた	<p>令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、地元大学や福祉施設、教育機関との連携は困難であったと思われる。そうした中で、市民第九演奏会などの事業が実施された点は評価できる。</p> <p>引き続き、他分野と協力・協働し、文化芸術が生み出す効果を活かしていく取り組みがより一層望まれるので、具体的な方策を検討していく必要がある。</p>
B 概ね計画どおりの成果が得られた	
C 成果が得られた事業が多かった	
D 成果が得られた事業は少なかった	
E 成果は得られなかった	

施策⑨ 文化による地域の活性化

施策ごとの事業の成果

(1) 市民の文化交流の推進

ア 地域で行う祭り等の文化活動の支援

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
区・町内会等活動支援事業 【市民活動推進課】	区・町内会等の自主的・主体的に行う活動の推進を図るために助成金を交付	・助成金交付:251団体、 79,281世帯(前年度比 1,230世帯減) 町内会加入率 57.1%(前年 度比1.4%減)	・助成金交付:251団体、 80,511世帯(前年度比1団体 減、778世帯減) 町内会加入率 58.5%(前年 度比1.1%減)	継続して区・町内会等の事業活動に対し、支援を行うことができたが、新型コロナウイルス感染症の影響下で、計画通りの活動ができない団体が多かった。	B
郷土芸能保存 【文化財課】 《再掲》	郷土芸能の保存団体の活動を支援する補助金の交付、他機関の助成情報の提供	・郷土芸能保存団体会員数 1,156人(前年度比41人減) ・補助交付 17団体 保存伝承事業14件、用具修理・購入補助6件	・郷土芸能保存団体会員数 1,197人(前年度比12人減) ・補助交付 19団体 保存伝承事業12件、用具修理・購入補助12件	郷土芸能保存伝承のための活動や用具の修理・購入に補助を行うなど保存団体の活動を支援することができたが、新型コロナウイルス感染症の影響下で、計画通りの活動ができない団体も多かった。	B

イ 地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽分野について、令和2年度より市より移管を受けた。	派遣アーティスト10組23名、実施回数23回(前年度比12回増) <内訳> 音楽(①三味線4回、②フルート・オーボエ・ピアノ3回、③マリンバ・パーカッション・ピアノ3回④ピアノ2人2回、⑤サクソフォン・打楽器4回、⑥ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑦ギター2回、⑧ヴァイオリン・ピアノ1回)、落語3回、日本舞踊0回、 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	派遣アーティスト13組28名、実施回数11回(前年度比4回減) <内訳> 音楽(①三味線1回、②サクソフォン・打楽器1回、③フルート・オーボエ・ピアノ1回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、⑦ギター1回)、日本舞踊1回、落語1回、演劇1回、美術2回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を間近で感じられる機会を提供することができた。	B 市内で活動する若手音楽家6組を派遣しており、アーティストの経験値を上げることができた点も成果と考えている。

ウ 生涯学習活動団体、外国人住民を含む市民団体等の交流の推進

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
生涯学習情報発信 【文化・生涯学習課】	公民館・ふれあいセンター等で定期的に活動する団体を認定し、生涯学習活動を支援	・生涯学習活動団体登録数 659団体、12,047人(前年度比24団体減、1,217人減) (施設使用料の減免) ・生涯学習情報サイト 生涯学習活動団体等の情報を集約し、インターネット上で発信	・生涯学習活動団体登録数 683団体、13,264人(前年度比31団体減、409人減) (施設使用料の減免) ・生涯学習情報サイト 生涯学習活動団体等の情報を集約し、インターネット上で発信	市内各所の公共施設で活動する団体を登録団体とし、様々な団体の活動を支援することができた。	B 登録数が減少しており、対応策の検討が必要と考えている。
公民館まつり・ふれあいセンター芸能発表会 【各公民館・各ふれあいセンター】 《再掲》	公民館・ふれあいセンターで活動する同好会の成果発表会を開催	中央公民館 26団体出演・出展、延べ参加者1,672人 東部公民館 23団体出演・出展、延べ参加者2,220人 南部ふれあいセンター 延べ参加者367人 西部ふれあいセンター 延べ参加者1,358人 ※知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。	知多公民館 9団体出展、延べ参加者115人 鷹来公民館 10団体出展、延べ参加者68人 坂下公民館 19団体出展、延べ参加者312人 ※中央公民館、東部公民館、南部・西部ふれあいセンターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。	地域で活動する様々な団体に成果発表の機会を提供するとともに、各団体の交流を図ることができた。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、複数の施設で事業を実施することができなかった。	B ※開催分についての み評価

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民との協働促進 【市民活動支援センター】	ささえ愛センター市民 交流会議を開催 ささえ愛センターまつ りを開催	・ささえ愛センター市民交流会 議役員会 10回 登録団体 205団体(前年度比回数変化 なし、6団体増) ・ささえ愛センターまつり 4月 16～18日 主催 ささえ愛セン ター市民交流会議・春日井市 ・市民活動展示会(市役所、東 部市民センター)	・ささえ愛センター市民交流会 議役員会 10回 登録団体 199団体(前年度比3回減、1 団体減) ※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、ささえ愛セ ンターまつりは中止。	ささえ愛センター市民交流 会議と協働で、ささえ愛セ ンターまつりと市民活動展 示会を開催することがで きた。	B 登録団体数も増え、 各種事業も実施でき た。

エ 市民団体への小中学校施設の開放

事業名	概要	令和3年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
学校施設開放 【文化・生涯学習課】	地域住民の生涯学習 活動やコミュニティ活 動の推進を図るため 余裕教室を地域の団 体に開放	・学校施設開放 小学校3校、5団体が利用 ・松原学習センター 9団体、1,776人が利用(前年 度比1団体増、1,024人増)	・学校施設開放 小学校3校、5団体が利用 ・松原学習センター 8団体、743人が利用(前年度 比3,142人減)	余裕教室を活用し、地域 住民に開放し、生涯学習 活動やコミュニティ活動 を推進する機会を提供す ることができた。	B
学校体育施設開放 【スポーツ課】	平日や土日の夜間に、 小中学校の体育館等 を一般に開放	※スポーツ目的での利用を含む 小中学校:体育館52校、利用 者人 中学校:武道場15校、利用者 22,252人	※スポーツ目的での利用を含む 小中学校:体育館52校、利用 者56,662人 中学校:武道場15校、利用者 5,080人	学校の利用のない時間 帯において体育館等を開 放し、地域住民の活動を 推進することができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値			
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人	13,794人	13,673人	13,264人	12,047人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた	<p>令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、いずれの活動も困難であったと思われる。</p> <p>高齢化による後継者不足が懸念される郷土芸能等の保存については、社会的な課題も大きいですが、引き続き、どういった対策が可能か検討していく必要がある。</p> <p>また、生涯学習活動団体についても、高齢化や活動自粛により会員数が減少している中、今後どういった支援が有効なのか、引き続き検討していくことが望まれる。</p>
B 概ね計画どおりの成果が得られた	
C 成果が得られた事業が多かった	
D 成果が得られた事業は少なかった	
E 成果は得られなかった	

(2) プラン全体(計画期間4年目)の評価

令和3年度も、令和元年度末から広まった新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年となった。

そのため、市や文化財団などで実施予定であった事業で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期や中止となったものもあったが、企画の内容を再検討するなどした結果、それぞれの事業は計画に近い成果を上げることができたと考えている。しかし、他分野との連携が必要なものなど、「計画どおり」又は「計画以上の」成果があったとの評価は難しい分野もあった。自己評価については、感染症の影響下で様々な制約があったにもかかわらず、何とか工夫を重ねて事業実施につなげられた事業では、その旨が記載されており、それぞれの働きかけの成果と考えている。

感染症の問題がいつまで継続するかは判然としないが、コロナ渦での「新しい生活様式」、コロナ後の「新しい生活様式」の中で、心豊かな日常を送るためには、文化は必要不可欠なものである。令和2・3年度は事業を実施できなかった事業・取組についても、今後はどういった対応がとれるのか、引き続きの検討が望まれる。

また、施策③「知りたい人に届く文化情報の発信」については、人々の価値観の多様化もあり、対応が難しい部分も多いが、引き続き強化を求めたい。

その他、施策④「市民による文化活動支援の推進」、施策⑥「特色ある文化の推進」、施策⑦「文化財・伝統文化の保存・継承・活用」、施策⑧「分野を超えた連携の推進」、施策⑨「文化による地域の活性化」は、担い手の高齢化もあり、コロナ後の大きな課題となることが想定される。1～2年で効果が上がるような対策よりも、長期的な視野で検討を重ねていくことが引き続き望まれる。